

どっから座公演「稲穂かがやく里 種まき桜の物語」  
奥玉地区の伝説をモチーフに熱演

千厩地域市民劇場第11回どっから座公演「稲穂かがやく里 種まき桜の物語」は3月9日、千厩農村環境改善センターで上演され、地元で伝わる数々の伝説や歴史も織り交ぜた物語を団員が熱演しました。

三枚山金山で働き春の訪れを待つ人々や桜の精の孫たちが田植えを手伝いに来る話などが演じられました。菅原正憲座長は「どっから座の役割は、地域の伝統などを伝えること」と話し、「町内の歴史や旧跡などを題材にした演劇にこだわりたい。地域活動が盛んになり、多くの人に関心を持ってもらえれば」と元気な地域づくりに意欲を見せました。



高総体に向けて腕を磨く  
一関総合体育館で春季高校剣道錬成会

「春季高等学校一関剣道錬成会」は4月12日、一関総合体育館を会場に行われました。第12回目の同錬成会は、高総体前の合同練習会として県内32校、県外26校が参加。釜石高校から参加した三浦愛佳さん(2年)は、「今日は納得のいく試合ができなかった。課題を克服し、高総体ではいい成績を残したい」と力を込めました。

主催者の一関修紅高校剣道部の西倫太郎顧問は、「今年は参加校も過去最多。それぞれの技を磨き、大会へ臨んでほしい。岩手で開催される2年後の国体への強化にもつなげたい」と話していました。



東磐職業訓練協会新入社員研修会  
即戦力として活躍するため研さんを積む

東磐職業訓練協会が主催する「新入社員研修会」は、4月2日から両磐地域職業訓練センターで開かれました。今年度採用の岩手県南と宮城県北の新入社員87人は、あいさつやコミュニケーション能力の向上など、社会人としての基礎的な科目を学びました。最終日には、勝部修市長が国際リニアコライダーの概要や誘致活動の現状について講演。誘致が実現すれば、地域企業にも波及効果があることを紹介しながら「外国から多くの研究者たちがやってくる。一関市は中心的な役割を担う。皆さんにはその力になってほしい」と話しました。参加した新入社員たちは、真剣なまなざしで学んでいました。



多岐にわたる記念行事の成功が認められる  
成人式大賞で優秀賞を受賞

26年市成人式実行委員会の阿部陸副委員長(21)、細川明佳副委員長(20)、千葉達也さん(20)は3月28日、「第14回成人式大賞2014」成人式優秀賞受賞を勝部修市長に報告しました。阿部副委員長は「多くの協力があって、理想の成人式を実現できました。本当にうれしい」と受賞を喜びました。勝部市長は「5年連続の受賞は頼もしい限り。皆さんの知識を、後輩に引き継いでください」と祝福しました。

同実行委員は「夢・決意・主張の作文」や、新成人全員参加の「ご当地クイズ」などの企画を成功させました。受賞は独創的で新成人参加型の取り組みが評価されました。



第21期緑のふるさと協力隊員に松元さんが着任  
達古袋地区で1年間の活動を体験

NPO法人地球緑化センターの緑のふるさと協力隊員として、鹿児島県鹿屋市出身の松元美樹さん(26)が着任しました。同隊員が一関市に派遣されるのは4年目。4月10日、市役所を訪れた松元さんは、「まずは自分が農業体験などを楽しみ、達古袋の良さを体感したい。徐々に、地域の魅力を外に向けて発信したい」と決意。勝部市長は「地域の皆さんと接して、自然、温泉など一関市の魅力をどんどん発見してほしい」と激励しました。松元さんは、農業体験などのほか、「たっこたい民泊プロジェクト」による農家民泊の受け入れや地域に伝わる神楽にも参加する予定です。

食品加工で地域づくりに貢献  
食アメニティコンテストで審査会特別賞受賞

農水省などが主催する「第23回食アメニティコンテスト」で、手作りみそやがんづきを製造販売する弥生グループ(佐々木マツ子代表)が審査会特別賞を受賞しました。

同グループは、01年、旧一関市農協弥栄支店跡地の活用と雇用創出などを目的にみそ加工研究会を設立し、07年に法人化。手作りの「弥生みそ」は、地元産の大豆と米を使用。学校給食にも採用されています。

また、道の駅で人気の「大橋がんづき」は、一関市を東西に結ぶ川崎大橋から名付けました。

佐々木代表は「最初は試行錯誤の連続でした。今回の受賞は、地域の皆さんをはじめ、多くの人の応援をいただいた結果です」と喜びを話していました。



④人気の大橋がんづき。やさしい味わいが魅力/⑤受賞を喜ぶ弥生グループの皆さん。

市内に電気が灯ってから100年目  
電気にまつわる貴重な品を展示

一関町営「一関電気作業所」が開業し、送電が開始されてから100年目を迎えたことを記念した「一関地域に電気が灯って100年展～電気の今昔タイムスリップ」(東北電力(株)一関営業所主催)は3月20日～23日、市街地活性化センター「なのはなプラザ」2階のにぎわい創造センターで開かれました。

展示会には市内外から約300人が訪れ、100年前に使われていた直径20センチの電球や、大正時代に使われた電気ストーブなど、電気にまつわる様々な展示品を興味深く眺めていました。

展示会を訪れた市内萩荘の磯辺孝明さん(35)は「電気の長い歴史を時代背景とあわせて見比べられ、とても勉強になりました」と話していました。



⑥電気に関するさまざまな展示品が公開された/⑦大正時代の電気ストーブ



金沢、涌津スポーツ少年団の活躍に期待  
ソフトボール全国大会への出場を報告

「第7回春季全日本小学生ソフトボール大会岩手県予選会」で優勝した金沢スポーツ少年団と準優勝した涌津スポーツ少年団は3月14日、勝部修市長に全国大会出場を報告しました。

金沢の佐藤小雪主将は「地域の皆さんに応援に励まされるよう、一戦一戦、力を込めたい」と、涌津の千葉梨花主将は「支えてくれた家族に感謝して、練習の成果を発揮します」とにっこり。勝部市長は「一関のソフトボール技術は全国に誇れる。世界で活躍する先輩たちを目標に、伸び伸びとプレーしてきてください」とエールを送りました。

